

令和5年度 第1回 宜野湾港マリーナ利用者説明会 議事要旨

日時：令和5年5月28日（日）

18:00~20:00

場所：宇治泊公民館（宜野湾市）

1 参加者：利用者70名（うちWeb参加29名）

説明者：県港湾課（5名）

指定管理者（株式会社シーエンジニアリング沖縄 6名）

2 議題

(1) 宜野湾港マリーナの改善計画（案）について（説明者：県）

(2) マリーナ使用方法についてのご希望（説明者：指定管理者）

(3) 意見交換

3 議事内容

(1) 宜野湾港マリーナの改善計画（案）について

県港湾課（高良開発監）から別紙資料「宜野湾港マリーナの改善計画（案）」について説明した。その他は以下のとおり。

・当該計画（案）については、令和5年の秋頃に改めてホームページ上にて公表する予定。

(2) マリーナ使用方法についてのご希望

指定管理者（西銘代表）から別紙資料について説明した。その他は以下のとおり。

- ・マリンアクティビティの窓口を設置し、施設利用者との導線を分けた。
- ・宜野湾港マリーナのアプリを開発したので、利用をお願いしたい。
（現在約300人が登録している）
- ・使用料納付のキャッシュレス化を目指したい。
- ・メンテナンスヤードの再編 ・コンテナのレンタル
- ・放置車両対策について ・サービス棧橋への常時係留の禁止
- ・マリーナ内の美化活動 ・次世代育成への取り組み
- ・地域のイベントとの連携 ・使用料の前納ルールの徹底
- ・駐車場の利用について

(3) 意見交換

参加者からの主な意見と説明者側の回答は以下のとおり。

①利用者に対する利用規定について、存在しているのか。その規定に放置船や放置車両、駐車場利用のルールが明記されているのか。規定があるのなら周知が必要。

回答：今後周知を徹底したい。（県・指定管理者）

②コンテナのレンタル料金の根拠が知りたい。

回答：県への土地使用料のほか、周辺の環境整備や人件費などを積算している。
（指定管理者）

③個人所有の船で所有者が亡くなった場合など、遺産相続されずに残っている場合があるが、その場合は名義変更等で対応する必要があるのでは。

回答：個人名義から法人名義への変更は認めていない。ケースに応じて検討したい。
（指定管理者）

④係留施設の空き状況、船台の撤去状況など情報提供を行ってほしい。また、利用規定等を替える場合も事前に教えてほしい。

回答：意見交換会等の場を設けて説明に努めたい。（県）

⑤使用料支払いのキャッシュレス化を進めてほしい。

回答：ハードルは高いと考えられるが、検討したい。（県）

⑥アクティビティ事業者のジェットスキーが航路に入って危ないことがあるので指導してほしい。

回答：アクティビティ業者と話し合い危険がないようにしたい。（指定管理者）

⑦マリーナ近くの外海に誘導灯（ライト点灯のブイ）があるが陸側が発展して明るくなったことから近年は明かりが見えにくくて危ない。改善できないか。

回答：現状を把握して、検討したい。（県・指定管理者）

⑧40フィート級の船に対応できる船台を整備してほしい。

回答：県と調整して検討したい。（指定管理者）

⑨マリーナ内で飲食するカフェなどを置いてほしい。

回答：キッチンカーを手配するなど検討したい。（指定管理者）